

人事賃金制度の動向について！

JR九州は「中期経営計画」の中で2024年度までに人事賃金制度の見直しについて、成果やチャレンジが評価につながる制度をめざすとし、「人材戦略の推進」の中で優秀な人材確保のため、人事制度改革の一環として人事賃金制度の見直しを明らかにしています。

◎ 現在の人事賃金制度の内容として！（平成19年4月1日実施）

- ・ 諸手当について整理・見直しを行う。
- ・ 基本給は、年齢給と仕事給で構成。・ 仕事給に人事考課を取り入れ。
- ・ M・E級の試験制度の導入。 ・ 55歳以降基本給の支給率を定める。

◎ JR九州を取り巻く状況について！

- ・ コロナ禍で旅客収入減。・ 4期連続のボーナスの低額回答。
- ・ 若手社員を中心に離職が相次ぐ状況。
- ・ 効率化に伴い働く職場（車掌職場等）が無くなる。
- ・ 副業を認め、資格・試験制度の見直し。

◎ JR九州ユニオン賃金に対する要求事項について！

- ・ 定年年齢の延長。
- ・ 55歳以降の基本給支給率100%。
- ・ 嘱託再雇用社員の賃金の見直し。
- ・ 嘱託再雇用社員の昇給制度の新設。
- ・ 第二基本給の撤廃。
- ・ 各種手当の新設と増額要求。
- ・ 2022年度 賃金要求一律6,000円。
- ・ 2022年度 夏季手当3.5ヵ月 年末手当3.36ヵ月要求。
- ・ 西九州新幹線開業祝金 5万円要求提出。



= 今後の課題として =

・ JR九州ユニオンは、人事賃金制度改正問題に関わらず、55歳以降、嘱託再雇用社員の労働条件の改善、各種手当の新設及び増額、大幅ベア・ボーナスの獲得をめざし、魅力ある働きやすいJR九州を創り出します。